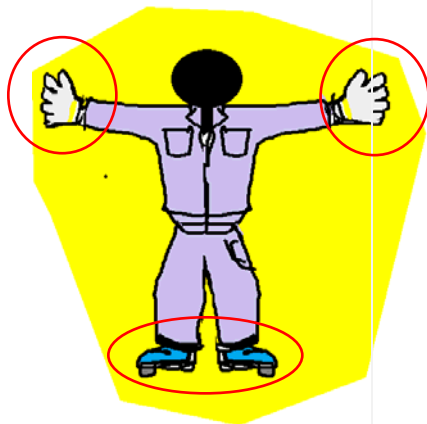


補足資料2

側溝の清掃を行うときの留意点

作業の際は、できるだけ
軍手・安全靴・作業着を
着用しましょう。



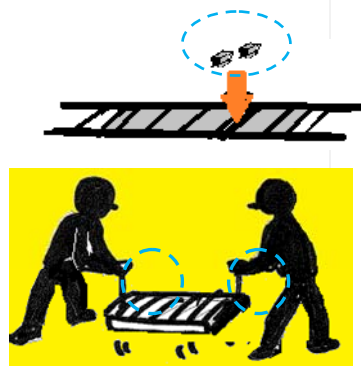
車両の通行を妨げない範囲で、あらかじめ作業範囲を区切り、カラーコーン等を置いて安全対策(養生)を行ってください。

- 空けたふたは路肩に置くか、養生の範囲内に置くこと。
- 車の通行の多い箇所は、一人が誘導係として交通整理を行なうこと。



ふたの開け閉めは、必ず2人以上で行なってください。

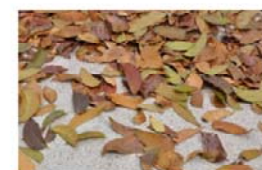
- ふたを空ける前にズレ防止の金具を取り外して、無くさないようにすること。
- ふたは直接手で持たずに、持ち上げ道具を利用すること。
- 足はふたの前に立たないこと。



作業が終わった場所にごみや土を残さないでください。
作業終了後は、道具や備品を元に戻してください。

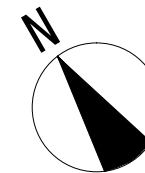


腐葉土は土として林に戻してください。



落葉は可燃ゴミとして処理してください。

参考資料



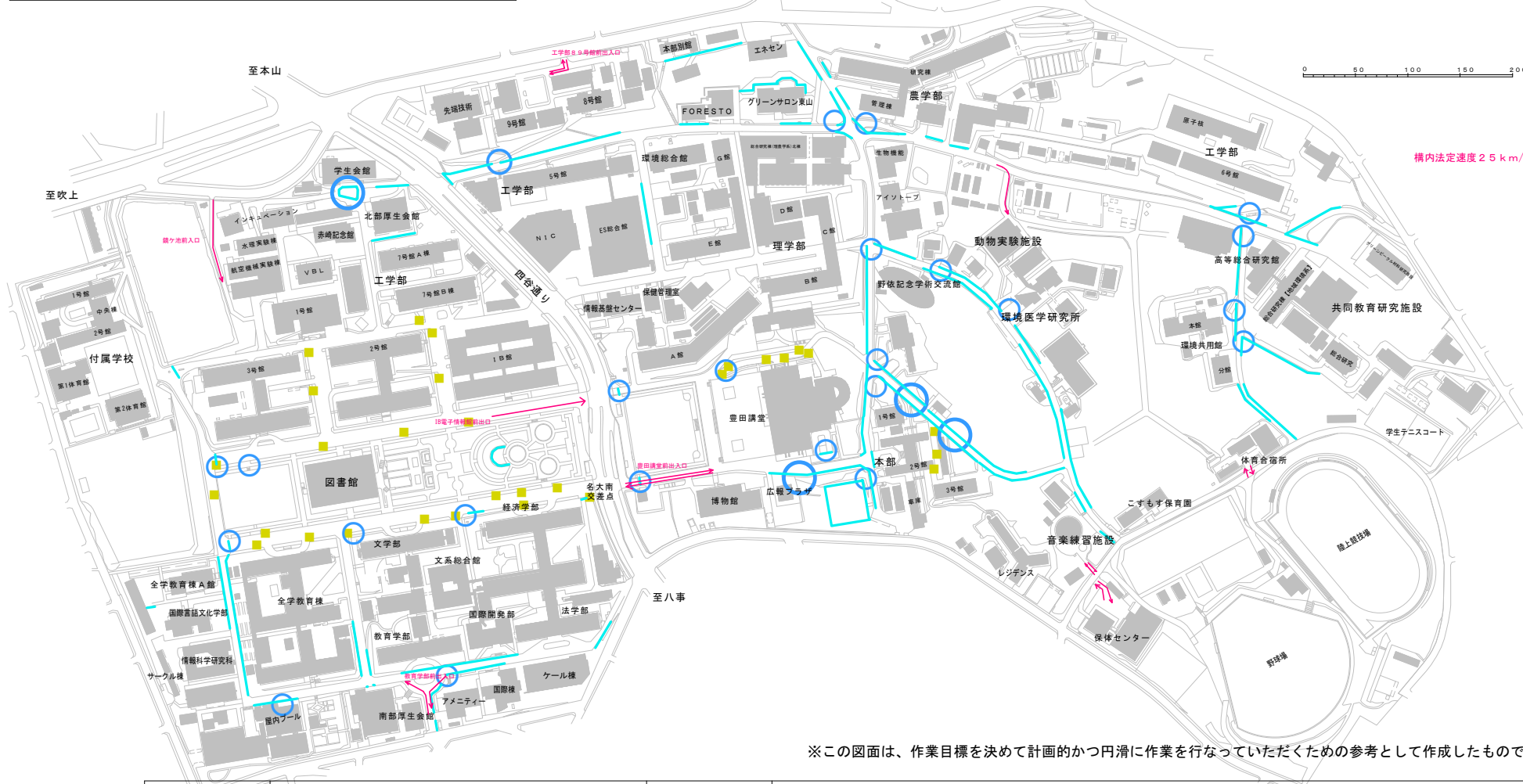
0 50 100 150 200m

構内法定速度 2.5 km/h 以下

- ※ 側溝清掃作業を行う時の留意点 (計画的かつ安全に作業を行うための心得)
- ・できるだけ軍手・安全靴・作業着など動きやすく万全なものを着用する。
 - ・側溝や樹の蓋の開け閉めは、必ず2人以上で行なう。
 - 〔 蓋は直接手で持たずに、持ち上げ道具を利用する。 持ち上げた蓋を置く場所に足を置かないこと(足をはさまない)。 〕
 - ・車の通行の多い箇所は、カラーコーンなどの養生の他作業人の他、誘導係の人もつけること。
 - ・作業が終わった場所にごみや土を残さない。使った道具や備品は元に戻す。

側溝位置表示

- (水色の線) 側溝箇所 (蓋の取りはずし可能な部分)
- (黄色の四角) 排水樹箇所 (蓋の取りはずし可能な部分)
- (青色の丸) 特にごみ(落葉など)つまりやすい箇所



※この図面は、作業目標を決めて計画的かつ円滑に作業を行なっていただくための参考として作成したものです。

調査日	平成30年4月	件名	東山キャンパス構内メイン道路周辺 側溝・排水樹のごみのたまりやすい箇所目安
-----	---------	----	--